

**ESD2030学び合いプロジェクト
流山防災まちづくりプロジェクト
避難所開設訓練
～誰も取り残さない避難所づくり～
参加者アンケート調査結果概要**

令和4年11月11日（金）
@流山市立東部中学校

実施後アンケート調査：N=154 (男性61, 女性76, 不明17)

2022年11月11日(金)

流山防災まちづくりプロジェクト

ESD2030 学び合いプロジェクト 参加者アンケート

本日は「流山防災まちづくりプロジェクトの避難所開設訓練～誰も取り残さない避難所づくり～」にご参加頂きありがとうございます。男女共同参画の視点を大切にした中学校での避難所開設訓練の評価、今後の改善のため、アンケートにご協力下さい。なお、匿名でご回答頂くため、学校の成績やあなたご自身の評価には全く影響しませんのでご安心下さい。

1) 本日のプログラムはいかがでしたか？あなたのお考えに近い番号をお選び下さい (Oは一つずつ)。

項目	あなたの評価			
全体的な満足度	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満
説明の内容	1. 分かり易い	2. やや分かり易い	3. やや分かりにくい	4. 分かりにくい
訓練所開設訓練	1. 分かり易い	2. やや分かり易い	3. やや分かりにくい	4. 分かりにくい
今後の参加意向	1. また参加したい	2. どちらともいえない	3. 今回で十分	

2) 避難所開設訓練を体験し、あなたは以下についてどの程度理解が深まりましたか？ (Oは一つずつ)

	1	2	3	4	5
	理解できた	ある程度理解できた	どちらともいえない	あまり理解できなかった	理解できなかった
a) 避難所の運営をどうすればよいか？	1	2	3	4	5
b) 避難所での感染症対策	1	2	3	4	5
c) 避難所では性別によりニーズが異なる点	1	2	3	4	5
d) 避難者にできることは何か？	1	2	3	4	5
e) 色々な「要配慮者」がいること	1	2	3	4	5

3) 避難所開設訓練を体験し、あなたが感じたことを以下よりお選び下さい (Oはいくつでも)。

- 自分でもできることが増えた (具体例:)
- 家族や友達に話したくなった
- もっと詳しく調べてみようと思った
- 好奇心が刺激された
- 自分の考え方を見直そうと思った
- 責任感が高まった
- 特になし
- その他 ()

4) 避難所訓練を体験し、あなたが今後の日常生活でも特に気をつけようと思ったことを以下よりお選び下さい (Oはいくつでも)。

- お互いを尊重しあう
- 自分ができていることをする
- 社会的弱者 (高齢者・障がい者・妊産婦など) に配慮する
- 男女でしっかり役割分担をする
- 地域のために役立つことをする
- 相手を理解する
- なるべく人に任せる
- 命を大切にする
- 差別しないようにする
- 特になし
- その他 ()

5) 以下の項目について、あなたのお考えに近い番号をお選びください (Oはいくつでも)。

項目	あなたの考え			
防災リーダーに向いている人	1. 男性	2. 女性	3. 性別では判断できない	
主に家事 (調理、掃除、洗濯等) を担う人	1. 父親	2. 母親	3. 自分	4. 家族全員
主に仕事をして生活費を稼ぐべき人	1. 父親	2. 母親	3. その他	

6) あなたご自身の性別についてお答え下さい (Oはひとつ)。

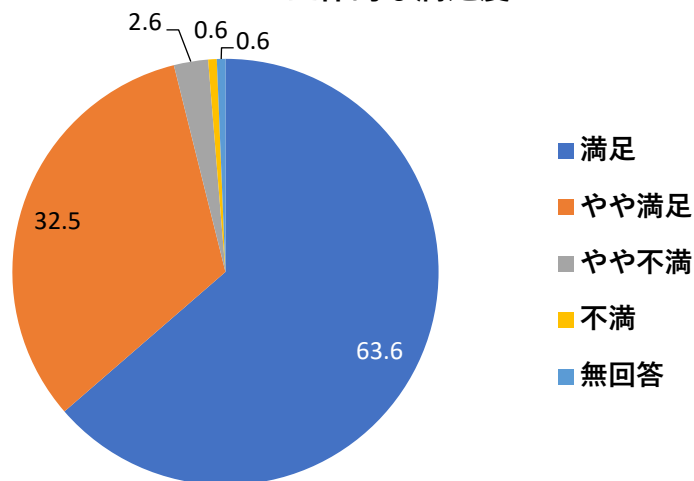
- 男性
- 女性
- 答えたくない

★その他、本日のプログラムに関して新たな気づきや得たこと、分かりにくかった点や改善点、要望等、以下に遠慮なく自由に記入してください。

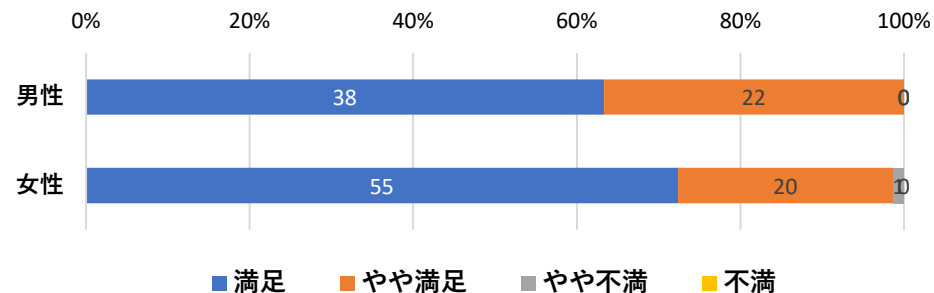
ご協力ありがとうございました。

集計結果：全体的な満足度、今後の参加意向

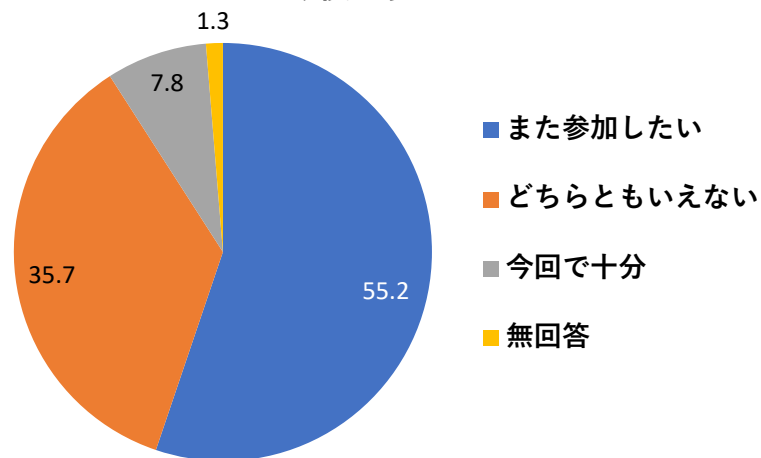
全体的な満足度



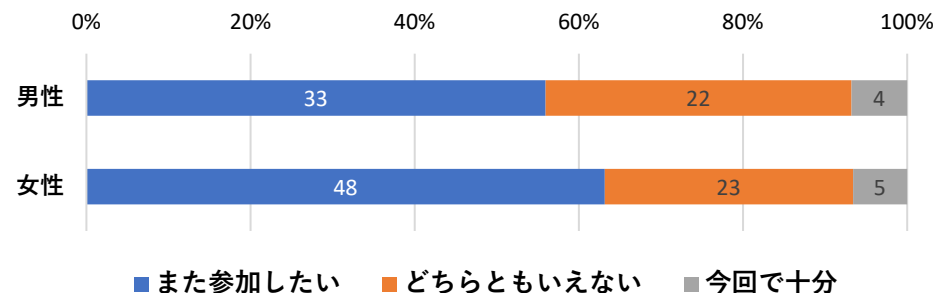
全体満足度



今後の参加意向



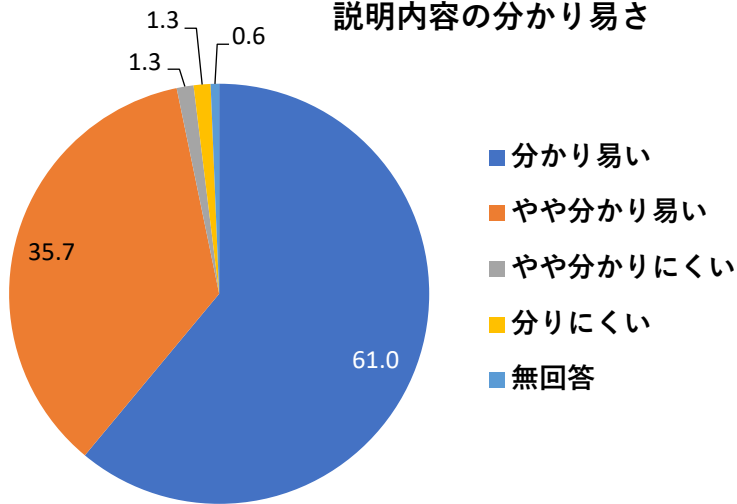
今後の参加意向



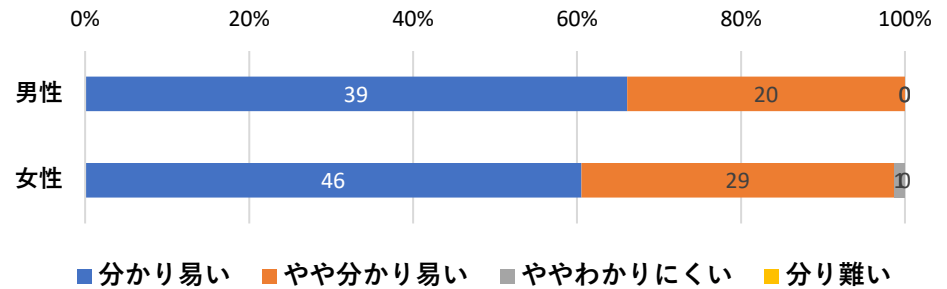
満足 (63.6%)とやや満足 (32.5%)を合わせると96.1%が満足、と高い評価、今後の参加意向は55.2%(いずれも女子生徒の評価の方がやや高かった)

集計結果：説明内容および訓練の分かり易さ

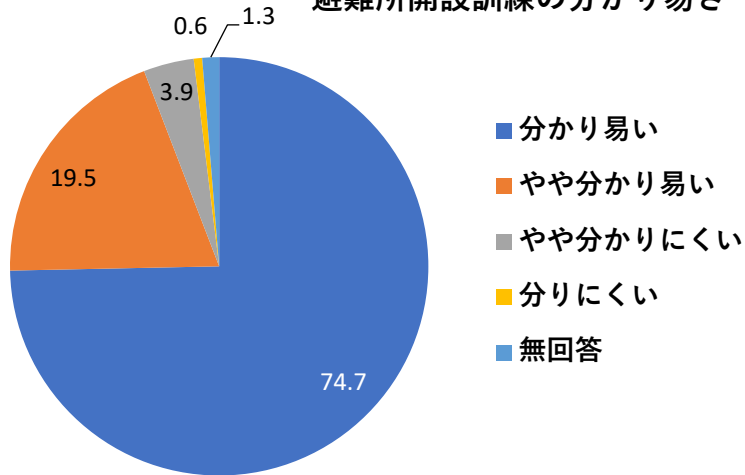
説明内容の分かり易さ



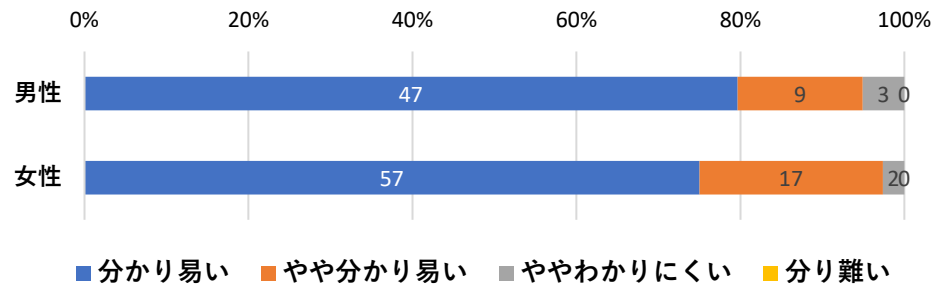
説明内容の分かり易さ



避難所開設訓練の分かり易さ

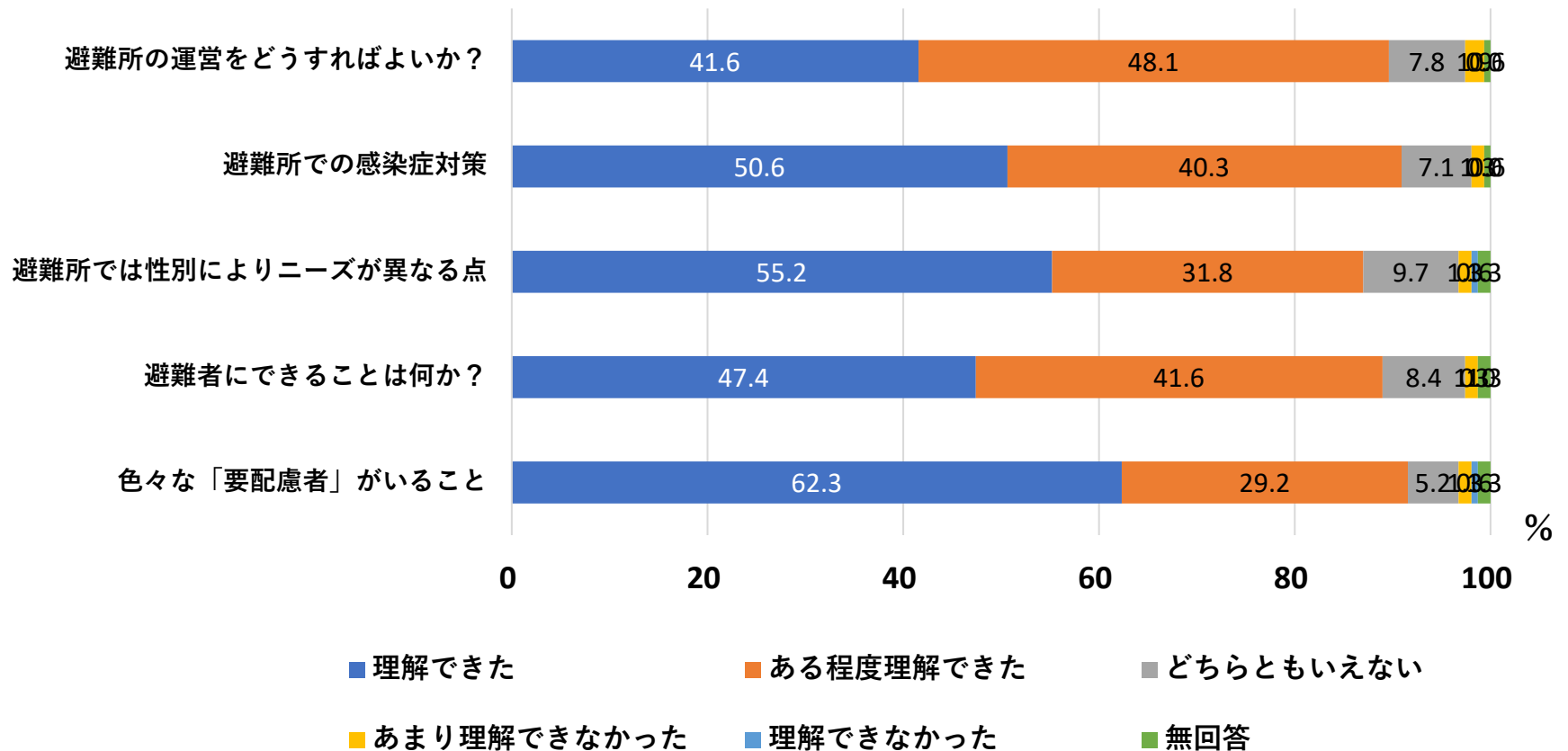


避難所開設訓練の分かり易さ



説明内容は、分かり易い(61.0%)とやや分かり易い(35.7%)を合わせると96.7%、
 訓練は、分かり易い(74.7%)とやや分かり易い(19.5%)を合わせると94.2%、
 いずれも男子生徒の方がやや高い評価をしていた。

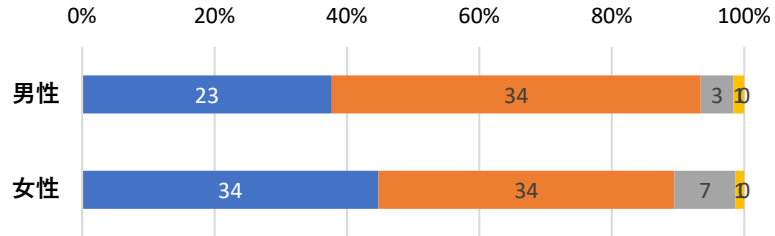
集計結果：主な「めあて」に対する理解度



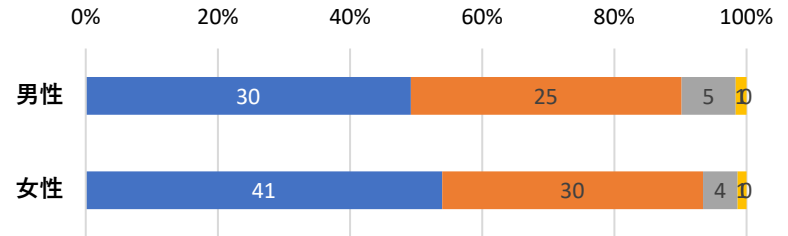
全体的な理解度(参加者の自己評価)は87%超、理解促進効果が確認された。
 特に、「色々な要配慮者がいること」に対する理解度が相対的に最も高かった。
 → 主催者側が最も理解して欲しい内容について概ね理解されたと示唆され
 今回の説明内容やプログラムの目標が達成されていると評価できる。

集計結果：主な「めあて」に対する理解度（男女比）

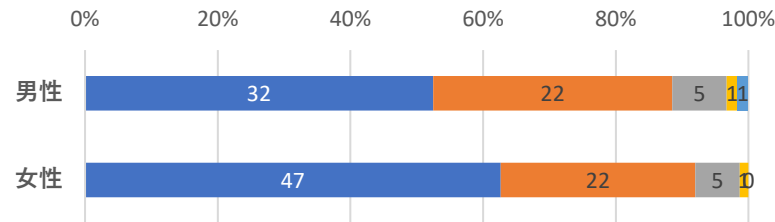
理解度：避難所の運営



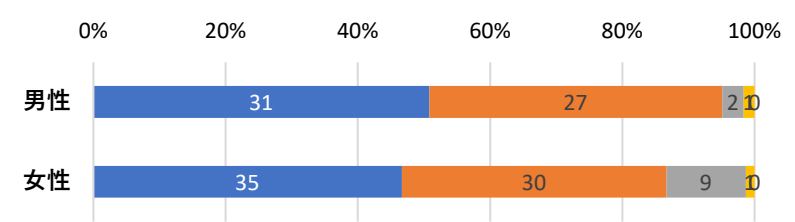
理解度：避難所での感染症対策



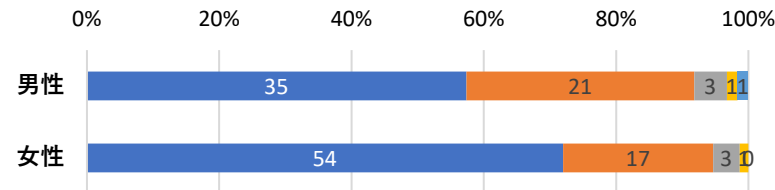
理解度：避難所では性別によりニーズ異なる



理解度：避難者にできることは何か



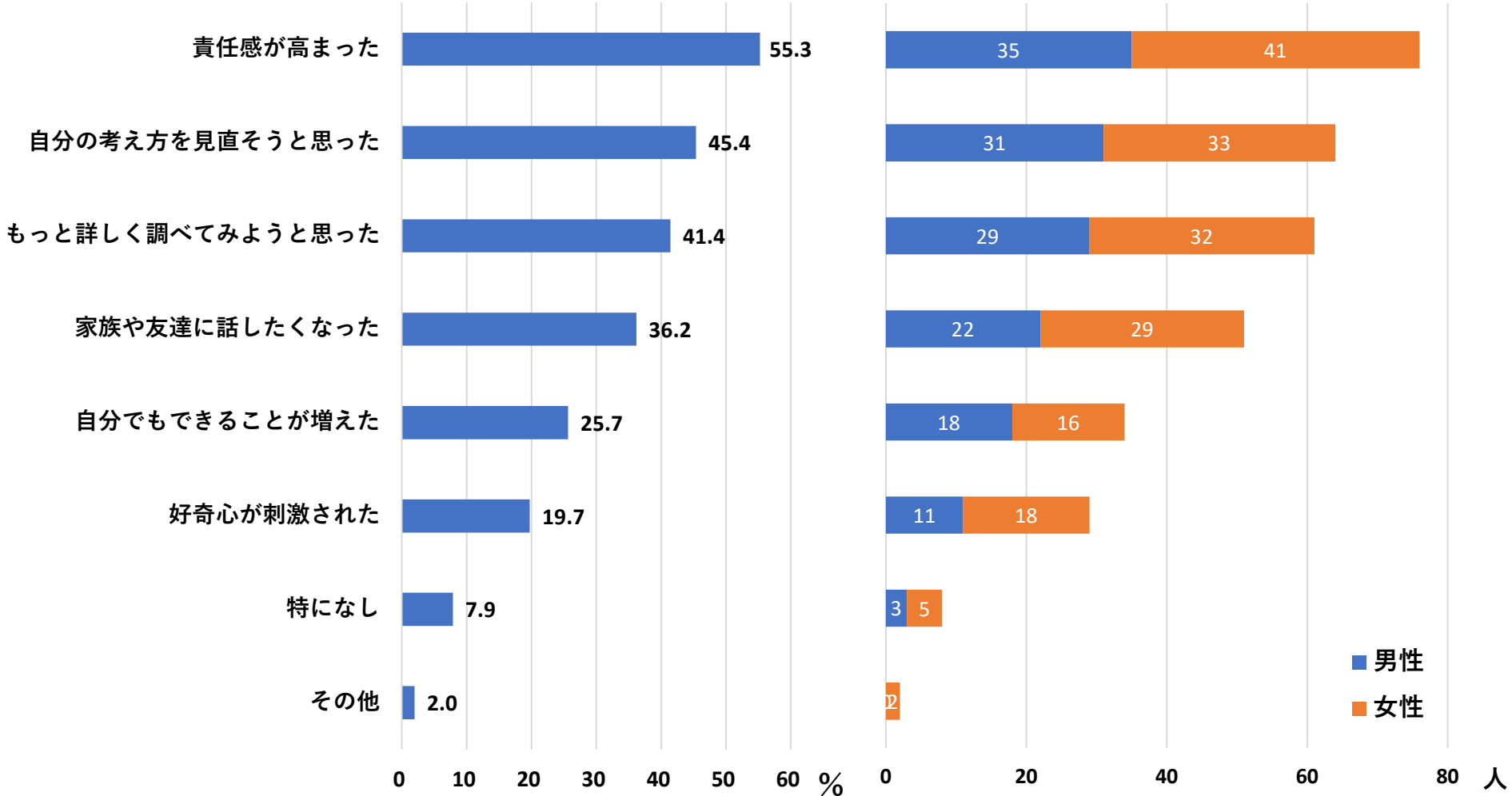
理解度：色々な要配慮者がいること



- 理解できた
- ある程度理解できた
- どちらともいえない
- あまり理解できなかった
- 理解できなかった

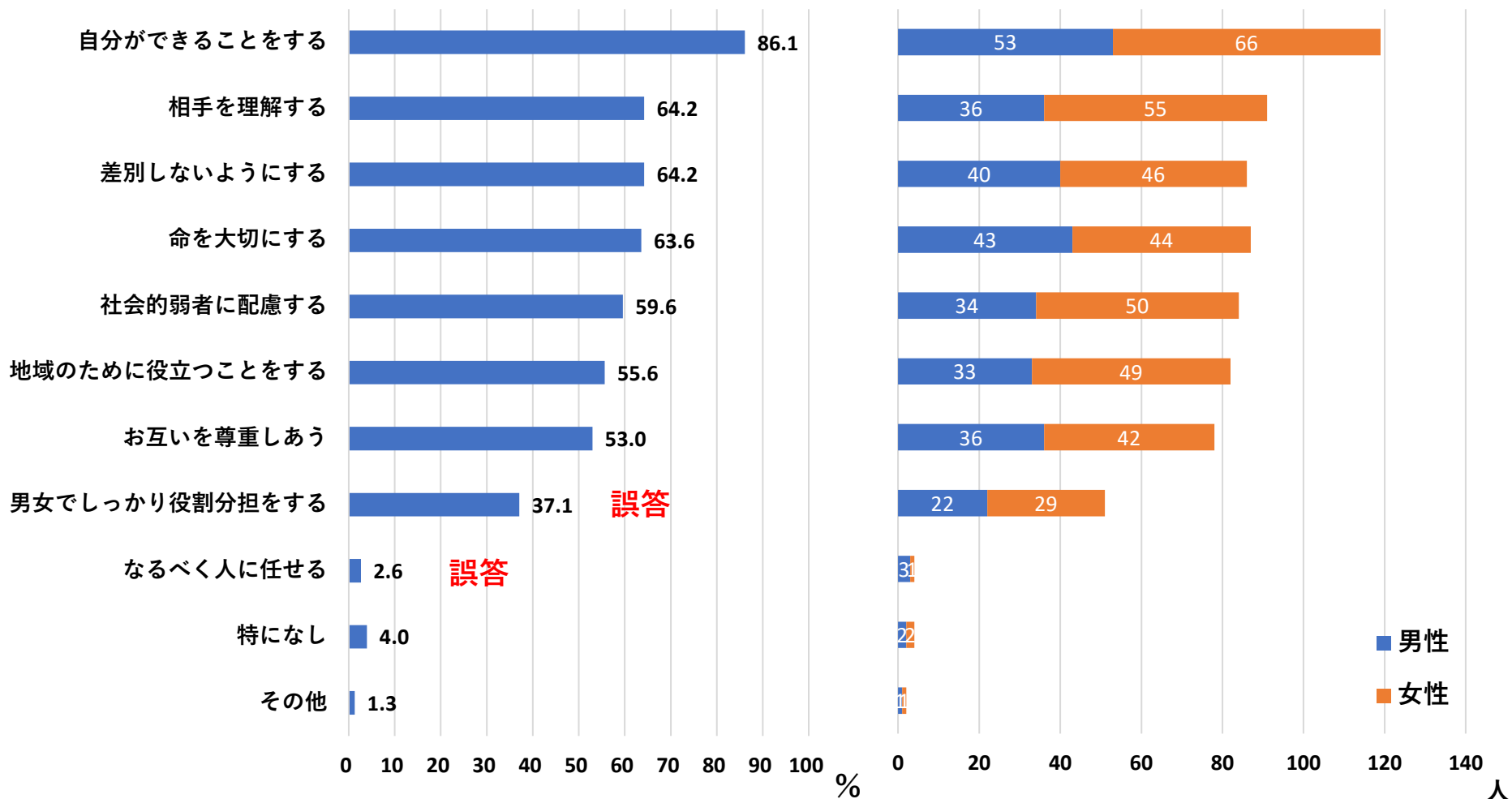
項目によっては理解度にやや性差あり
特に「いろいろな要配慮者がいること」は、
女子生徒の方が理解度が高かった。

集計結果：訓練体験により感じたこと（複数回答）



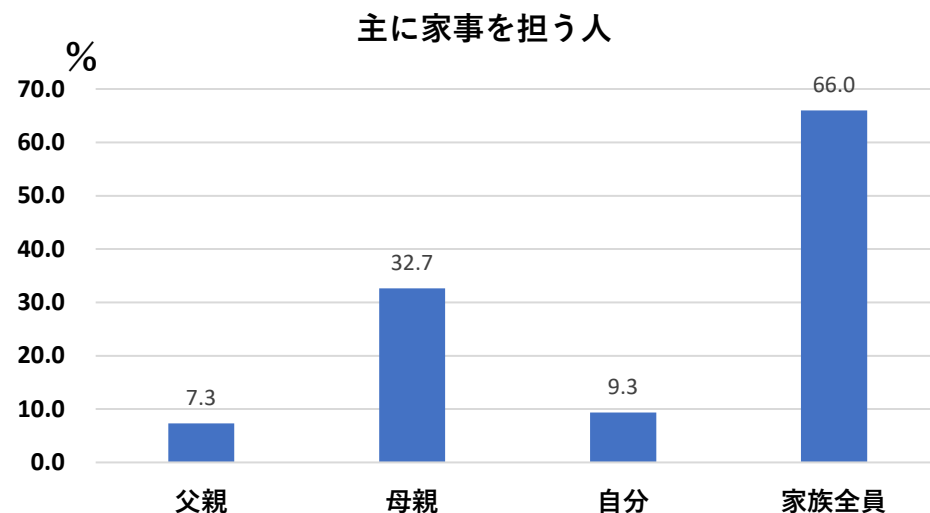
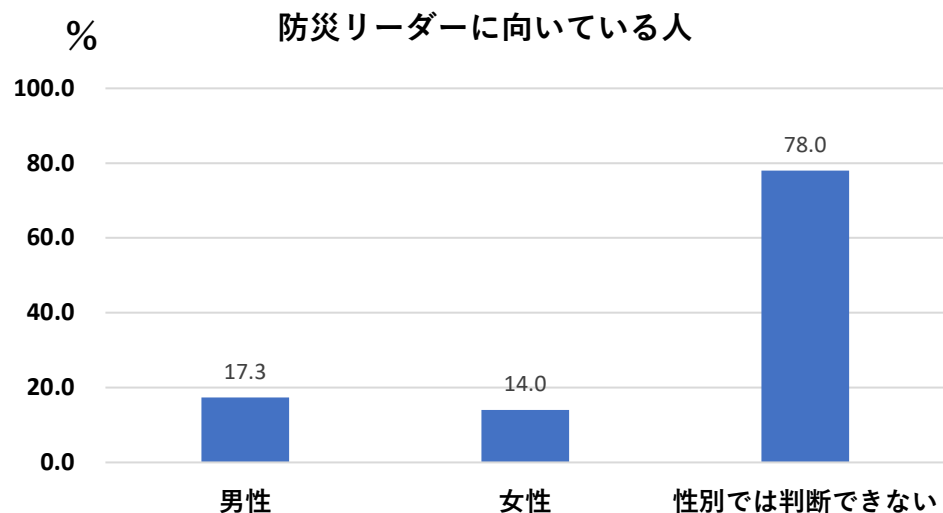
実際に体験することで、「責任感の高まり(55.3%)」や「自分の考え方の見直し(45.4)」、「学習意欲の高まり(41.4%)」等、自分事として考える意欲向上の効果が男女共にあり。

集計結果：訓練体験により今後の日常生活でも 特に気をつけようと思ったこと（複数回答）

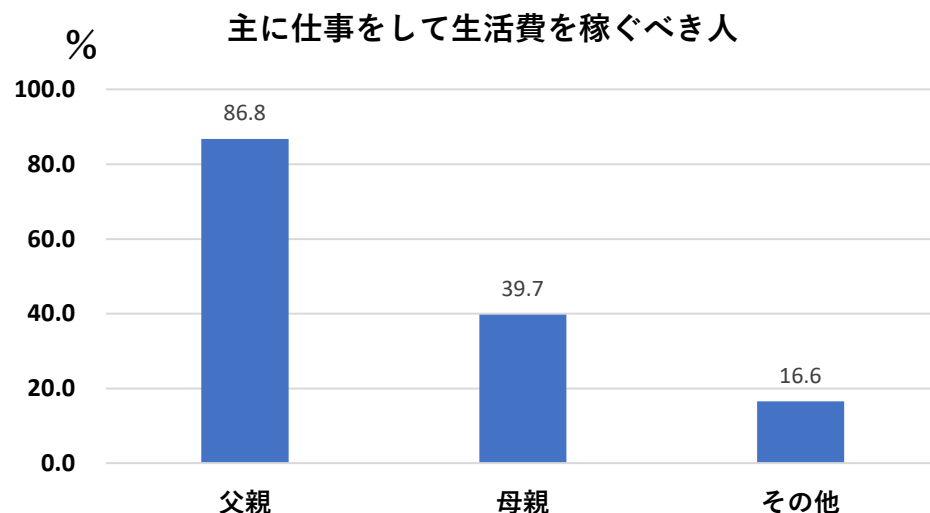


実際に体験することで、行動意欲、他者理解、差別回避、命の大切さに対する意識向上効果がみられた。誤答の回答率は低く、概ね正しく理解された事が確認された。

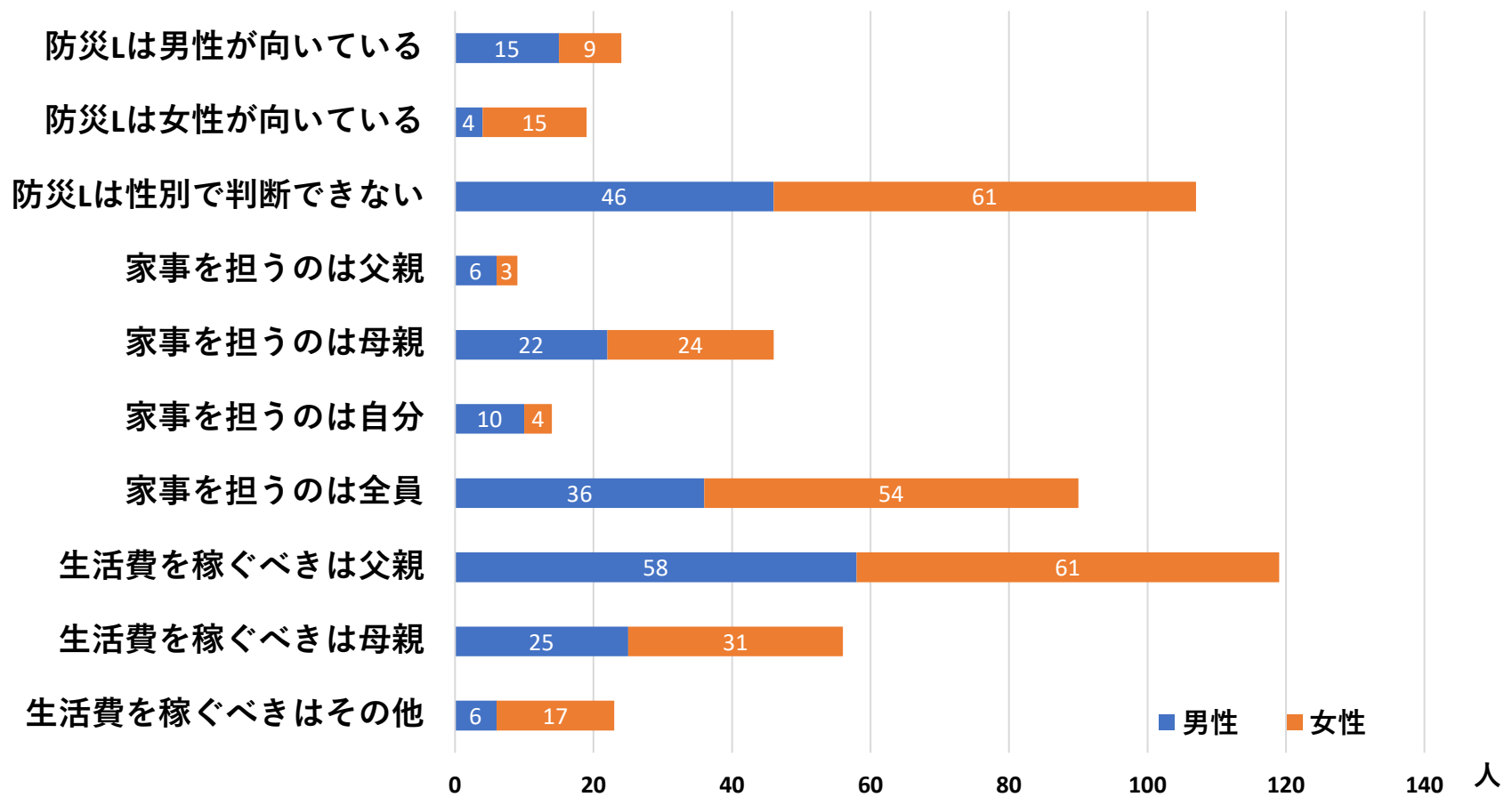
集計結果：ジェンダーと多様性に対する考え（複数回答）



防災リーダーの適性について性別で判断できないとの回答者は78%であり、概ね理解されていた。
家族内での役割(家事や仕事)についてはまだある程度偏った固定概念が認められた。



集計結果：ジェンダーと多様性に対する考え（複数回答）



防災Lの適性: 性別で判断できないとの回答が多く正しく理解されている一方、男女とも自らの性別の方が向いていると思う傾向がややみられた。

家事: 全員で担うべきとの回答が多かった。男子学生の方が実施意欲高い傾向。

生活費の担い手: 主に父親との認識が男女とも高かった。

集計結果：自由回答からの抜粋

項目	参加者からの主なコメント
改善点 (運営)	<ul style="list-style-type: none"> ・イスを用意しておいて欲しかった・ずっと座っていておしりが痛くあまり集中できなかった。 ・必ずマイクを使って欲しい／周囲の声で少し話が聞こえ難かった／後ろは説明が全く聞こえなかった。 ・最初のテント等1個ずつ説明する際、場所や人数の関係で見えなかったり聞こえなかった。 ・見えないことがあった(後ろを向くときに前だったので見えなかった)。 ・見学するときぐちゃぐちゃになっていたから、並ばせせた方が良かったと思った。
改善点 (説明)	<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し絵やグラフがあると分かり易い。 ・話す速さが速い時があつて聞きとりにくい時があつた／見学での説明の声が小さかった。 ・避難者にできること(に関する内容)があまりわからなかった。
反省点	<ul style="list-style-type: none"> ・私語が多かった／私語等を減らす(教えてくれる方々の声が聞こえなかったため) ・テントをたたむのに時間がかかって申し訳なかった。
好意的意見	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生にも興味をもてるような分かりやすく楽しい説明だった／貴重な体験ができてうれしかった。 ・知らない事が色々あつたのでとても役に立ついい授業だと思った／疑問がとけて良かった。 ・自分達はもう「助けられる側ではなく助ける側」ということが新たに学びました。
行動意欲の 向上	<ul style="list-style-type: none"> ・今後に備えて家族で話し合おうと思った／家でちゃんと準備しているか確認し、備えようと思った。 ・自分たち中学生は守られる側でなく守る側だと新しく学んだ／しっかり助ける側になれるようにしたい。 ・実際に起こった時には今回の事を生かしたい。 ・自分ができることはしっかりとやるようにしたい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレやベッドについて知らなかったのが知識の一つになった ・ペットについても考えようと思った。 ・避難所が身近に感じられた。